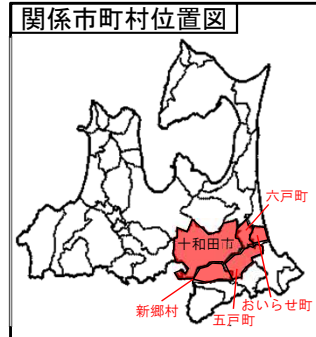


令和2年7月豪雨や令和元年東日本台風など、全国各地で甚大な被害が頻発していることを踏まえ、奥入瀬川水系でも事前防災対策を進める必要がある。
奥入瀬川流域の特性等に応じて下記の対策を実施することにより、奥入瀬川水系における浸水被害の軽減を図る。



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

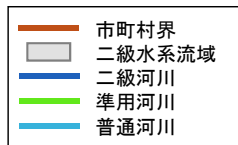
- ・樹木伐採・河道掘削
- ・既存ダムにおける事前放流
- ・土砂災害対策
- ・森林整備・治山対策
- ・水田貯留

■ 被害対象を減少させるための対策

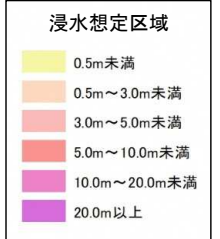
- ・浸水リスクを考慮した立地適正化計画
- ・盛土構造物の保全

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・円滑かつ迅速な避難のための取組（ホットライン、タイムライン等）
- ・被害軽減のための取組（水防体制の強化等）



関係市町村
十和田市、六戸町、おいらせ町
八戸市、五戸町、新郷村



【主な二級河川】

①奥入瀬川	⑦片淵川
②後藤川	⑧中里川
③藤島川	⑨鳶川
④小林川	⑩黄瀬川
⑤生内川	⑪惣部川
⑥熊の沢川	



奥入瀬川



合同巡視

※対策の代表箇所を旗揚げしている（全域で取組む対策は省略）。
 ※「伐採・掘削」は該当河川の位置を旗揚げしている。
 ※浸水想定区域は洪水予報河川および水位周知河川を表示している。
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

奥入瀬川水系の流域全体を俯瞰し、県、市町村、関係機関等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
【短期】 樹木伐採・河道掘削の集中実施。土砂災害対策の実施。既存ダムの事前放流、森林整備・治山対策、その他ソフト対策等の推進。
【中長期】 土砂災害対策を完了させるとともに各対策を継続実施し、地域全体の安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	樹木伐採・河道掘削	県・十和田市・六戸町・おいらせ町・五戸町・新郷村	集中実施	
	既存ダムにおける事前放流	県 等	四和ダム、指久保ダム	
	土砂災害対策	県	砂防堰堤、急傾斜地対策	
	森林整備・治山対策	県・十和田市・六戸町・おいらせ町・八戸市・五戸町・新郷村・森林管理署・森林整備センター	国有林・民有林	
	水田貯留	県・十和田市・六戸町・おいらせ町・八戸市・五戸町・新郷村 等	実施に向けた調整・検討	
被害対象を減少させるための対策	浸水リスクを考慮した立地適正化計画	市	見直し検討	
	盛土構造物の保全	県・十和田市・六戸町・おいらせ町・八戸市・五戸町・新郷村	道路盛土 等	
円滑かつ迅速な避難のための取組	円滑かつ迅速な避難のための取組	県・十和田市・六戸町・おいらせ町・八戸市・五戸町・新郷村・気象台	浸水想定区域・ハザードマップ、ホットライン・タイムライン、防災教育 等	
	被害軽減のための取組	県・十和田市・六戸町・おいらせ町・八戸市・五戸町・新郷村	水防体制の強化、市町村庁舎等の機能確保 等	

※取組期間について、【短期】は今後概ね5年、【中長期】はその後10年程度。なお、スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。